

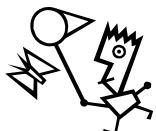
**この人！ 『森の中の絆』 NPO法人「とき」を祝うメモリー 江尻 吉彦さん**

海上の森が世間に出た愛・地球博、私は瀬戸会場海上の広場にて2ヶ月間にわたり「とき」を祝うメモリーを展開して人と人との交流と絆をテーマに活動しました。海上の森の多くが残され、センターが置かれ、里山に触れられて私は身近な自然と里山の必要性が肌身に感じられました。若い日の里山での哀愁でなく、自然と人の関わりでの里山を歩き環境課題の多くの原点を感じました。里山を勉強したく第1回あいち海上の森大学に入学しました。講師陣の幅広さは言うまでもなく、自然保全、生物とのかかわり、気候、里山の人のかかわり、法令等学ぶ範囲も広く、また海上の森での体験と有意義な1年を過ごしました。

昨年はこの海上の森をより多くの人に紹介して先ず知って頂くために「海上の森を歩こう」を企画して、里山を歩き森の中の癒しを感じ、参加者の交流を図る「とき」を祝うメモリーを4回実施

**センター職員の随想リレー  
かたりべのひと言、  
食わず嫌いはいもったいない**

初めて海上の森を訪れたのは子供と一緒に虫取りに来た4年前でした。当時4歳の息子はどこに行くにもすぐ抱っこをせがんでぜんぜん歩きませんでしたが、そのときは次々と虫を見つけてどんどん歩いていき、それまで一番長く歩いたのを良く覚えています。以来図鑑を何冊もぼろぼろにして壊すほど彼は虫の世界に引き込まれていきました。私自身はそれまであまり昆虫には興味がなかったのですが、子供に付き合っているうちに車には虫かごと虫アミは常に乗っていて、どこに行っても虫がいないか気にするようになりました。こうして昆虫の奥深い世界が自分の目の前に広がったのです。最近水生昆虫にハマっていて水辺を見つけては二人でガサガサしています。名前はいつまでたってもぜんぜん覚えられませんが、新しい世界を見せてくれた自然と息子に感謝。(T・A)



いたしました。今年も5月に2回実施し、9月19日の実施を計画しています。また、海上の森大学の同窓会設立に関わり、卒業生の情報交換や実践活動の取り組みを進めています。

私は今後も海上の森を歩き、参加者との交流、ミニコンサートのお祝いを通じて、野山の草木や生き物との絆が保たれるよう小さな行動を続けたいと思っています。



**プロフィール** 1945年1月23日生まれ。瀬戸市品野町山奥育ち、塩野義製菓10年、生花小売業(花屋)32年。あいち海上の森大学同窓会前会長。今ボランティア活動に生きがいを感じています。



**森のなかま**

**セミ** セミの鳴き声は夏の風物詩。海上の森でも様々な種類のセミの声が聞こえてきます。梅雨の時期、早朝から聞こえるのは、ニイニイゼミとヒグラシの鳴き声です。どちらも小柄なセミで、ニイニイゼミは「チ——…」と長い声で、ヒグラシは「カナカナ…」と情緒深く鳴きます。ニイニイゼミは、松尾芭蕉の名句《閑さや岩にしみ入る蟬の声》で詠われているセミだといわれており、終日鳴き続けます。ヒグラシは、普通明け方と夕方に鳴きますが、光に反応するので薄暗い日は昼間も鳴きます。どちらも9月頃まで出現します。この他アブラゼミやクマゼミといった定番のセミも加わって、林内にはセミの大合唱—蟬時雨が降り注ぎます。



ニイニイゼミ



ニイニイゼミの抜け殻

参考文献：日本の昆虫（三木卓，1993，小学館）

ニイニイゼミの脱け殻は丸く、泥をかぶっている。

# 展示の目玉

「緑のカーテン」 つる植物をすだれ状に育てて  
つくる「緑のカーテン」。見た目の爽やかな印象に  
もさることながら、直射日光を遮りかなりの冷却  
効果があるそうです。センター本館2階、ライブ  
ラリー脇の通路にも緑のカーテンが育っていま  
す。こちらは「ゴーヤ」のカーテンです。5月末  
に種を植え、随分と大きくなりました。7月に入  
ると、黄色の可愛らしい花が次々と咲き、実が膨  
らみ始めました。実もなる緑のカーテンだと、楽



しみも2倍にな  
ります。



# その他のお知らせ

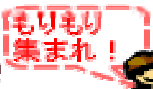
## 海上の森入口駐車場 夜間駐車禁止

これまで海上の森入口の駐車場は終日開放して  
いましたが、この度夜間の駐車を原則禁止といた  
しました。これは、夜中に駐車場で花火をし、  
そのゴミを放置していたり、エコトイレの物品  
を荒らすなどのマナー違反の行為が度々行われた  
ことに対するやむを得ない対応です。もちろん早  
朝に散策を楽しまれる方、夕涼みの散歩をされる  
方などの入場を制限するものではありませんが、  
一部の心ない方による行為で、海上の森の環境や  
訪れる方々の気持ちが損なわれてしまうのは極め  
て残念に思います。

当センターは、海上の森をよりよく保ち、訪れ  
る方々が気持ちよく自然を感じられるよう願っ  
ております。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# イベント・参加者募集



イベント名	開催日	定員	募集期間	対象
★里の再生教室（田んぼ・あぜ・水路の再生作業）	10/3（土）	50名	8/3-9/19	小学生以上、小学生は保護者同伴
♪調査学習会（海上の森の秋のキノコ）	10/18（日）	50名	8/18-10/4	小学生以上、小学生は保護者同伴
★森の楽校（どんぐりのシンフォニー）	10/31（土）	50名	8/31-10/17	小学生以上、小学生は保護者同伴
♪調査学習会（海上の森の動物）	11/3（祝）	30名	9/3-10/20	小学生以上、小学生は保護者同伴
★里の再生教室（田んぼ・あぜ・水路の再生作業）	11/8（日）	50名	9/8-10/25	小学生以上、小学生は保護者同伴
★海上の森ツアー	11/14（土）	50名	9/14-10/31	小学生以上、小学生は保護者同伴
★里の再生教室（田んぼ・あぜ・水路の再生作業）	11/29（日）	50名	9/29-11/15	小学生以上、小学生は保護者同伴
♪里山のものづくり（間伐材を使った工作）	12/12（土）	30名	10/12-11/28	小学生以上、小学生は保護者同伴
★森の楽校（あたたかな陽だまりで深呼吸）	12/20（日）	50名	10/20-12/6	小学生以上、小学生は保護者同伴

### 《応募方法》

官製はがき、FAXまたはE-mailに①イベント名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入し、申込期限（当日消印有効）  
までに、下記の申込先へお申し込みください。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

### 《申込先》

★印のイベント…あいち海上の森センター（〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1、TEL:0561-86-0606、FAX:0561-85-1841）  
♪印のイベント…海上の森の会（〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局  
TEL/FAX:0561-21-9298、E-mail:morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp）

## ◆人と自然の共生国際フォーラム

日時:10/24(土)10:00~17:00、25(日)10:00~15:00

場所:1日目-愛知産業労働センター、2日目-海上の森 他

※詳細はp2「海上の森はいま」をご覧ください。



編集後記：今年の梅雨は異常なほど長く、連日の  
ゲリラ的な大雨で、山歩きの方も少なかったよう  
です。しかし8月に入ってからは、強烈な日差し  
が降り注ぎ、セミはせわしなく鳴き続けていま  
す。蒸し蒸しした暑さはたまりませんが、夏らし  
さを感じられて少しほっとした気分です。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成21年8月26日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL 0561-86-0606 FAX 0561-85-1841

E-mail kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

